

N31a 鹿児島 1m 鏡による AGB 星近赤外線モニター観測

宮ノ下亮、面高俊宏、福元直洋、中井千尋、1m 光赤外線グループ

我々は鹿児島大学 1m 光・赤外線望遠鏡と近赤外線カメラ (J, H, K バンド) を用い、2003 年 9 月から AGB 候補星の長期間モニター観測を継続してきた。天体は IRAS Point Source Catalogue より、IIIa, IIIb を中心に II, IV 領域まで約 700 天体を選出して観測を行っている (Van der Veen, Habing 1988)。これまでの観測データから約 350 天体以上の天体で、周期・振幅、平均実視等級を求めることができた。変光の振幅が大きく ( $>1\text{mag}$ )、かつ変光周期が長いものも (400day~700day) も多く見つかっている。

尚、近赤外線カメラは故障のため、2009 年 12 月から 2011 年 3 月までの約 1 年 4 カ月間アメリカで修理を行った。カメラは 2011 年 3 月に鹿児島に帰還し、2011 年 4 月から近赤外線観測を再開する事ができた。現在は、上記天体のモニター観測を進めている。今学会では 2011 年 6 月までのデータを用いて、結果を報告する。